



2023年 4 月 13 日 第2515回例会
4 月 第 2 例会

RIテーマ:IMAGINE ROTARY

「イマジン ロータリー」

本年度会長テーマ

「原点回帰－親睦と職業奉仕－」

「環境月間」

◆ 会長時間 ◆

新原会長



広島西RCは台南RCと30年目の姉妹クラブ締結を行いました。個人的に深いつながりはありませんが、酒を酌み交わし楽しく盛り上がったロータリアンもいます。そうしま

すと台湾海峡の問題は他人事には思えなくなりません。中国やロシアにも友人がいます。友人が暮らしている国と戦争なんかしたくないと思うのは人として当然の心理だと思います。ロータリーが国際理解を進めようとしている意義は、世界に友人をつくり紛争や戦争を予防しようということにもあるように思います。

しかし、戦争は国家間による武力衝突であり、残念ながら外交手段の一つという認識をほとんどの国で持っているのも事実です。軍事演習やNATO加盟はその証左です。個々人は「あの国と戦争はしたくない」と思っている、国家すなわち為政者の判断一つで戦争は起こってしまいます。戦争を戦うのは兵士たちですが、戦争を始めるのは政治家です。統一地方選挙は終わりましたが、私たちは国政を担う議員を選ぶときには、そのようなことも含めて真剣に投票しなければならないなどつくづく思う今日この頃です。

● 会務報告

古本幹事

✎ 5月よりメイクアップが必要となります。

● 第12回理事会議事録

日時 2023年4月6日(木) 例会終了後～

場所 ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「アマリリス」

報告事項

① 各委員会活動状況について

- 川妻理事より5月13日に計画している講演会「経験者から学ぶ国際社会奉仕」についての報告
- 川村理事よりひろしま協創インターアクトクラブ結成50周年記念誌の最終稿(案)を回覧
- 川村理事より地域・環境委員会がロータリー財団委員会を通じて地区補助金を申請した旨を報告

② 3月度収支計算報告について

大植委員長より報告

審議事項

- ① 第10回理事会及び第11回(臨時)理事会議事録の承認について 承認
- ② 新会員企業従業員の例会招待 報告 承認
- ③ 創立53周年記念夜間例会 報告 承認
- ④ 6月29日 年度最終夜間例会並びに会員懇親会について 承認
- ⑤ IAC卒業者への感謝状贈呈 報告 承認
- ⑥ 6月3日 IACテーブルマナー講習会について 承認
- ⑦ 6月卓話プログラムについて 承認
- ⑧ 社会・青少年奉仕部門クラブフォーラムについて 承認

- ⑨ 第30回ダサインinいつかいち 報告 承認
- ⑩ 講演会「経験者から学ぶ国際社会奉仕－日本の役割とは－」について 承認
- ⑪ 三浦 信夫 君 退会について（3月30日付け）承認
- ⑫ 新会員候補者（津村 昌史 さん、下岡 均 さん）の入会について 承認
- ⑬ 新型コロナウイルス感染症への対応について

5月からメイクアップを必要とする 承認

協議事項

米山学友の例会招聘の費用は幹事が判断する旨、確認された

次回開催日

5月11日(木) 例会終了後～ANAクラウンプラザホテル広島

委員会報告

※ 諏訪(昭浩)次年度会長

次年度委員会編成にともなう細則改正は、例会において出席会員の3分の2以上の賛成によって可決しました。

第9条 第2節(c) ロータリー情報委員会

改正前（一部抜粋）

「委員は3名をもって構成されるものとし、毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする」

改正後（一部抜粋）

「委員は3名以上で構成されるものとし、毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする」



※ 吉田(大)次年度幹事

例会終了後、4階「アマリリス」において第4回次年度理事会を開催いたしますので、次年度理事会メンバーは出席願います。

※ プログラム・出席委員会

出席報告 熊本委員長

本日（4月13日・木曜日）

会員数	87名	出席者	65名
欠席者	22名	ご来客	0名
ご来賓	0名	ゲスト	1名
		計	66名

4週前の例会2023年3月16日・木曜日

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会

小宇羅君

ロータリーの友誌紹介



● 会員記念日

祝 連続出席100%（2名）

香川(基)君(27年) 中村(光)君(3年)

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(13名)

梶本君	鈴木君	宍戸君
亀田君	諏訪(昭浩)君	石山君
森脇君	平原君	諏訪(昭登)君
香川(基)君	福田君	田原君
吉田(浩)君		

● スマイルボックス

SAA 柴田委員長



👤 山木君（自主申告・大枚）

このたびの全国統一地方選挙の県議選に息子の山木 しげるが2期目の出馬をいたしました。お陰様で無投票ではありましたが、無事に当選

を果たしました。息子にはしっかりと地域と広島県の為に頑張ってもらいます。感謝の気持ちを込めて大枚を出宝させていただきます。

👤 諏訪(昭登)君 (自主申告・大枚)

私達夫婦は本年4月結婚65周年を迎えます。幸いにも二人とも健康でありますので、今後とも変わらずよろしくお願いいたします。

👤 玉木君 (自主申告・大枚)

4月12日に岡山県総社市に日本産商・ロボットセンター岡山が無事に竣工しました。

創業60周年の年に事業再構築補助金を活用させていただき、建設したロボットセンターは北側スペースにロボットシステム組み立て工場、南側スペースにロボットと工作機械を融合させた最新鋭のロボットシステムを展示するショールームスペースを設けた複合ロボットセンターです。オープニングフェアは来春を予定しております。

気持ちも新たに関係者一同、より一層の努力を重ねて業務に励んでまいり所存でございます。倍旧のご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

👤 荒川君 (自主申告・トリプル)

昨日、12日長男 雄磨が大安の日に婚姻届を出し結婚と相成りました。式は、会場の関係で10月の大安の日に行う予定です。

若い夫婦が幸せになることを願い、出宝させていただきます。

👤 藤田(千)君 (自主申告)

今回の会報に新コーナーが誕生しました。

ロータリーの友の1月号を見習って(パクッて)「私のお仕事」という小さなコーナーを不定期で掲載する予定です。

自薦他薦を問いません。寄稿のお願いがありましたら、笑顔でご協力をよろしくお願いいたします。

● 卓話予告

日時	テーマ
4/27(木)	「自ら遊んで、学び、育つ」保育をめざして 社会福祉法人ともえ福祉会 ともえ保育園 園長 坂本 智恵 氏

■ 卓 話



「母子の健康月間」 子供達へのワクチン

井原 俊彦君

細菌やウイルスに対する抵抗力(免疫能力)を注射や経口摂取で人工的に予防的に作り出すのがワクチン。

母親になる年齢の女性は、色々な病気に罹ったり子供の時に色々なワクチンを予防接種されたりして抵抗力(免疫能力)を持っている。その抵抗力を赤ちゃんは子宮の中で育つ9ヶ月の間で貰っているが、生まれて12ヶ月頃までに失う。それ以降子供達は自分で免疫を作って病気を予防する必要がある。

A. ワクチンの歴史、発展

ジェンナーは、免疫の知識もなく、ウイルスの存在も明らかになる前の1796年天然痘に対して種痘(生ワクチン)を成功させた。

パスチュールは、1877年(145年前)狂犬病に対するワクチン(弱毒化生菌ワクチン)で9才の子供を救った。

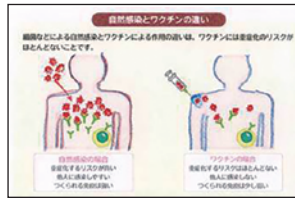
1897年ウイルスが発見され、次々と色々なウイルスが発見されてそれぞれのウイルスに対するワクチンが開発されてゆく。

当初は多くのウイルス感染症に対して生きたウイルスを使う生ワクチンが使われてきたために生ワクチンにより感染が起こった例が出た。このため病原体は生きているが病原性を弱めた「弱毒化生ワクチン」や、病原体をホルマリンなどで不活化した[不活化ワクチン]が開発され使用されることとなる。そしてコロナ禍を契機に[DNAワクチン]・[mRNAワクチン]・[タンパクワクチン]などの遺伝子情報ワクチンが登場した。

B. 免疫とワクチンの理論

スライド左側はウイルスや細菌に感染したときのイメージで、赤いギザギザの粒子状のものがウイルスか細菌。緑のY字体で示す抗体が多くできてウイルスや細菌を攻撃する。

右図のワクチン注射の場合は注入される赤いギザギザで示す病原体は極く少量なので、



出てくる抗体も少なく、作られる免疫も自然免疫と比べて少し弱いが発症予防効果がある。緑色のボール状に見えるメモリーB細胞は自然感染と同じように出てきており、キラーT細胞（細胞障害性T細胞）が感染細胞に引っついてウイルスをやっつけて症状がひどくならない、即ち症状進行重症化の予防となる。

C. 日本で子供達に予防接種している感染症

1. B型肝炎

B型肝炎ワクチン

生後2ヶ月から12ヶ月迄に3回接種する。

2. ロタウイルス感染症

乳幼児期にみられる急性胃腸炎（下痢、嘔吐、発熱など）。

生後2ヶ月迄に接種開始する。

3. ヒブ（Hib）感染症

（**H**aemophilus **i**nfluenzae **b**型）

（ヘモフィリス・インフルエンザ b型の頭文字をとってHibとした。）

1892年にインフルエンザに罹って肺炎になった患者から菌を分離してインフルエンザ桿菌と名付けたが1933年にインフルエンザのウイルスが発見された。インフルエンザの原因ではない。Hib菌により稀に髄膜炎を起こす。生後2ヶ月から始め1歳までに4回接種する。

4. 小児の肺炎球菌感染症

子供の多くが鼻の奥に肺炎球菌を保菌していて、稀に髄膜炎、肺炎を起こす。肺炎球菌ワクチンの効果で重症感染はほとんど無くなった。

5. 四種混合（DPT-IPV）ワクチン、三種混合ワクチン・ポリオ単独ワクチン

以下のジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ4種に対して混合ワクチンが使われ、3種混合とポリオ単独も使われている。

ジフテリア（Diphtheria）

ジフテリア菌の飛沫感染で発症し、のどの痛みが起り、のどの偽膜で窒息死することがある。

百日咳（Pertussis）

百日咳菌の飛沫感染による。

長く続く咳、子供から乳幼児・新生児へ感染して呼吸不全で死亡することがある。

破傷風（Tetanus）

土の中にいる菌が傷口から人の体内に入って感染するもの。

菌の毒素の為、痙攣を起こすことがある。

ポリオ（Polio）、急性灰白髄炎、小児麻痺

ポリオウイルス、口から感染し軽い風邪症状、胃腸炎の症状を起こす。腸の中で増殖したポリオウイルスが便の中に排出され、便を介して他人に感染する。ウイルスが脊髄の前角神経細胞に達した場合には左右非対称性の下肢を中心とした弛緩性麻痺を起こす。特効薬は無い。

1950年代世界各地で大流行し日本でも1960年に5,000人以上の患者が出た。当時車椅子になった人が多くいた。

国際ロータリーはWHO、ユニセフと協力して全世界でのポリオ根絶計画を続けて来た結果、アフガニスタン・パキスタン以外ではポリオは根絶されたはずだったが、ワクチン由来のポリオウイルスが強毒変異してナイジェリアで69例の感染例を出してしまった。2022年8月、アメリカ・イギリスで下水からポリオウイルスが検出され、アメリカではポリオ患者が発生した。全世界での完全根絶は難しそう。

現在日本ではポリオは根絶されているが流行国からの伝播の恐れがあるのでワクチンは続けられている。生後3ヶ月からの4回接種。

6. BCGワクチン（Bacille菌、Calmette カルメットとGuerin グランが作った）結核ワクチン

結核患者はかなり減少しているが未だ2万人前後が発症している。生後5カ月で1回接種する。

最近、高齢者が若い時に罹っていた結核が再燃する例と、東南アジアからの技能実習生や留学生の結核が増えていることが問題となっている。

7. MRワクチン（Measles、麻疹（はしか）、Rubella 風疹）

弱毒化生ワクチンで、1歳になった時と小学

校入学前に2回打つ。

麻疹（はしか）は、飛沫・接触・空気感染し感染力が強いので多くの人がかかり、肺炎や脳炎などを合併し失明することもあるがワクチンによって日本国内では根絶に近い状態にある。

風疹は、飛沫感染で風邪症状、関節炎などが起こる。妊婦が感染すると難聴・心疾患・白内障・精神・身体の発達の遅れなどの障害を持った先天性風疹症候群の児が生まれる。妊娠・分娩を考える年齢層では男女とも風疹抗体検査は公費で受けられるし、抗体が不十分な場合ワクチンをして妊娠に臨む必要がある。

8. 水痘（水ぼうそう）

水ぼうそうは水痘・帯状疱疹ウイルス（Varicella-Zoster Virus, VZV）・HHV-3（ヘルペスウイルスⅢ型）が原因。感染により発熱、発疹、水疱が現れる。三叉神経節、脊髄後根神経節に一生潜伏し、年を取って免疫機能が低下した時に再活性化して帯状疱疹を発症する。抗ウイルス薬（アシクロビルなど）が差し当たって効くが体調不良が続くと再発する。

水痘ワクチンは、弱毒化生ワクチンで日本で開発された。子供には1回目の接種で重症化を防ぎ、2回目の接種で水ぼうそうの発症をほぼ防げる。

9. おたふくかぜ

ムンプスウイルスの飛沫感染。全身に広がり、おたふくのように「唾液腺」が腫れることがある。正式の病名は「流行性耳下腺炎」。

年長児や成人がかかると合併症が多くなり、無菌性髄膜炎が10%で起こるし難聴に注意が必要。思春期以降でかかると睾丸炎・卵巣炎が25%に起こり不妊の原因となる。

弱毒化生ワクチンで効果は80%、3歳前に2回目を済ませておくと完全とされている。しかし、1990年頃のトラブル以降任意となっている。

10. 日本脳炎

日本脳炎ウイルスはブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染する。人からヒトへの感染は無し。

脳炎にかかった場合の致死率は20~40%で、

治った後に神経系の後遺症がでる場合もある。

弱毒化不活化ワクチンで3歳から始め4回接種する。

11. インフルエンザ

高熱が突然で咳が止まらない呼吸器疾患でコロナと間違われる。

インフルエンザウイルスはコロナウイルスと同じ一本鎖RNAウイルスで、とにかく変異しやすく多くの亜型がある。毎年ワクチンと流行株が一致しない事が多く、ワクチンを打ったのに一、となる。ワクチンは不活化ワクチンで子供達には任意で、高齢者には定期接種となっている。

12. HPV（ヒトパピローマウイルス）（ヒト乳頭腫ウイルス）

子宮頸ガンの原因の97%がHPV。

セックスによって感染するので性交の始まる前の年齢からワクチンをしてHPV感染を防ぐ必要がある。2013年にHPVワクチンが始まったがメディアが副反応を過剰に報告したために中断されていた。2022年4月より再び積極的勧奨となった。

13. 脳の髄膜炎

対症療法で予後は良好。

2歳からの任意接種。

14. 新型コロナワクチン

子供達には量を減らしてmRNAワクチンをしているが、小さい子供や妊婦へのmRNAワクチンには一部の専門家から異論が出ている。

D. 日本のワクチン行政の失敗

日本ではメディアと世論にワクチン行政が左右されてきた。その流れを作ったのが2つのトラブル。

1. 1992年天然痘に対するワクチンの後、脳炎の子供が出てそれに対する集団訴訟で国が敗訴した。戦後国内で天然痘（痘瘡）の発生が無くなったにもかかわらず国は接種を続けた結果、数百人の種痘後脳炎が出た。

2. 1993年には、MMRワクチンが中止となった。Mumps（おたふく）・Measles（麻疹）・Rubella（風疹）に対するMMRワクチン183万人接種で800人に1人（1,800人）が無菌性髄膜炎を起こした。おたふく担当の会社が勝手に製造法を

変えていたのが原因でワクチン不信が広がった。その結果日本では定期接種はMRワクチンとなりおたふくワクチンは任意接種となった。ところがその後の経過でおたふくワクチンをしていない子供に一生治らないムンプス難聴が0.1%（2年間で348人）出ており、無菌性髄膜炎も1.24%（1,051例中13例）現れた。ワクチンをした群ではムンプス難聴は無く、髄膜炎は0.047%（21,465例中10例）だった。ワクチンには副作用ありは事実だがマスコミがセンセーショナルに副作用をとりあげるので、それに左右された親たちに誤解と悲劇が起こった。

この2つの事件以降日本ではワクチンギャップと呼ばれる15年間が続いた。国は訴えられるのが嫌だから何もしない、任意に任せておいた訳だが、その間に海外では新しいワクチンが開発・導入されワクチンで防げる病気が激減した。

一方、日本では3つの悲劇が起こっていた。

1. B型肝炎。WHOは1992年、全新生児にワクチン接種を勧めていたが、日本では母子感染によるB型肝炎ウイルスキャリアを気を付けるだけで任意接種のままにしていた。その結果、諸外国ではB型肝炎が急速に減少したのに、日本では家族内・保育所で集団感染が発生し、肝硬変・肝ガンが増え劇症肝炎で多くのヒトが死亡した。24年遅れでやっと2016年に小児全員に定期接種となった。
2. 日本脳炎。2005年に副反応で重症のアレルギー脳炎が報告され、中断された。2009年に再開される迄に3人が日本脳炎に感染した。
3. 子宮頸ガン。2013年から積極的推奨が中止され2022年4月に推奨再開となったが、9年の間にやはり多くの犠牲者が出た。男の子にもHPVワクチンをしているオーストラリアなどでは子宮頸ガンは稀なガンとなったが、日本では2021年、12,400人の前ガン病変が出て、

2,800人が子宮頸ガンで死亡している。

テレビで放映されたHPVワクチン接種後に下肢の震えが起こるなどの神経症状を示した女の子はテレビには撮影させたが医者には見せていない。HPVワクチンは不活化ワクチンで強い副反応が出るはずがないのだ。接種後の失神や意識障害は思春期特有の注射の痛みや恐怖による機能性身体症状（心因性ショック）だったと考えられている。

ワクチンによる被害を信じる一部の人の科学的根拠のない主張を報道してきた反省で新型コロナワクチンでも死亡例や心筋炎などの副反応が起こっているが、メディアは報道を控えているようだ。



～私の仕事は～



エネルギーの安定供給と安全で快適な住環境の提案を通じて、家族団らんと企業活動の発展に貢献することが私（弊社）の仕事です。



柴田 脩司
平成18年2月9日入会

広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30～13:30
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
 会長 新原 靖
 幹事 古本 竜一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
 リーガロイヤルホテル広島13F
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
 作成・会報雑誌・広報委員会